

令和3年度第2回JCHO病院新宿地域協議会(配付型)概要

日時：令和3年11月17日(水) 資料発送

対象者：岡部 富士子 委員(新宿区医師会)

鈴木多恵子 委員(新宿区健康部健康づくり課)

大瀧 顕一 委員(新宿区若松町高齢者総合相談センター)

秋山 正子 委員(白十字訪問看護ステーション)

津吹 一晴 委員(新宿区矢来町東町会会長)

山田 和男 委員(新宿区町会連合会)

東京新宿 MC： 関根委員、外村委員、野月委員、溝尾委員

東京山手 MC： 矢野委員、北委員、野村委員、笠井委員

概要

例年第二回目は、東京新宿メディカルセンターで開催していたが、新型コロナウイルス感染症は、まだまだ予断を許さない状況等を鑑み、昨年同様に両病院の取り組みに関する資料を配布し、各委員からご意見・ご要望を返信いただく形式とした。

配布資料

- ・ 新宿地域協議会に係る資料について(案内)
- ・ ご意見、ご要望記入用紙
- ・ (山手)令和3年度第2回新宿地域協議会資料 ～新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大に対する取り組み
- ・ (新宿)JCHO 東京新宿メディカルセンターの紹介 ～地域が創る病院、病院がつくる地域～
新型コロナウイルスへの対応とその影響

(ご意見・ご要望)

- ・ 別紙のとおり

関根委員

昨年来猛威を奮う新型コロナウイルス感染症蔓延の中、本年は何といても東京オリンピック・パラリンピック開催に続く第五波到来の夏、両病院とも患者対応に追われ、多数の入院を受け入れました。また、規模はさほど大きくなかったとはいえ、院内アウトブレイクも経験し、職員は相当な身体的・精神的重圧の中での業務を強いられました。岡部委員からは、そのような私どもへの温かいご意見をいただき、日頃の密な連携への感謝とともに厚く御礼申し上げます。

コロナ禍で大変な思いをされているのは、地域住民の方々、行政、そして地域医療を支える医療機関・施設職員の皆様も同様かと思えます。まだまだ収束の兆しすら見えない昨今、一般診療の逼迫さえ大きく懸念されているところではありますが、引き続き地域医療への貢献に邁進してゆく所存です。何卒よろしくご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

本会も昨年度に続いて資料配布をもって開催させていただきましたが、出来る限り病院の活動状況についても発信してまいりたいと考えております。委員の方々のご意見、ご要望につきましては常時承るつもりでおりますので、適宜ご遠慮なくお寄せいただければ幸いと存じます。

末筆ながら、委員の皆様方、そして地域住民の方々のご健勝をお祈り申し上げます。